

さいじょう
文芸広場

俳句

至井北男 選

蠟梅や枝射す空を奪ひ合ひ
節分の鬼のゐすはる我が家かな
ふくふくと餅焼け新聞休刊日
バースデイ葉牡丹の渦ゆるみ初む
刃を入れて冬至南瓜もてあます
石鎚を背に元朝の国旗かな
父の忌や今年も届く冬林檎
雪の中渡船静かに港出る

川柳

藤原真佐美 選

田畑消え介護施設の街となる
義理とても大きな愛のチヨコレート
桜咲く父母と別れて一人立ち
晩節は妻の言葉に逆らわず
仏壇の貴方にあげるチヨコ一つ
のほほんと老いたわけではない昭和
春はそこ私の財良き仲間
かじかんだ手にもやさしい自噴水

短歌

田坂幸 選

水鳥の発ちたるあとの川の面に波紋繋がり条を引きをり
梅香る卒園前のお茶会に孫のお運びしとやかにあり
片方のサンダル無くした夢をみた鈍色の天空へ友逝きし朝
夕風に乗りてかすかに梅香る春の近きを告げ
看取られてば様逝きし黄泉路にも春近ければ花咲くらむか
文字覚えし五歳の孫の初便り字画足らねど頼もしく見る
三兄妹ボール蹴り蹴り遊びしが庭に置き去り夕日陰り来
山茶花の茂れる枝を歩き来して春はそこにと目白告げをり

■俳句・川柳・短歌 作品募集

作品は、読みやすい書体（楷書等）で作成し、俳句・川柳・短歌の別を書き、漢字にはふりがなを振り、住所・氏名・電話番号を明記し、毎月1日までに担当課へ郵送・持参してください。

応募先

〒793-8601 明屋敷164
西条市役所 広報広聴課 広報係
TEL 0897-52-1204（直通）

Your Friendly
Neighbors

世界のゆかいな仲間たち

No.107 西条大好き



▲範さん親子

はじめまして。私は、中国の北京から来ました、範です。よろしくお願いします。

1年半前に、西条に来ました。その時は、私は日本語があまり上手ではなくて、子どもも友達がいなくて、とても寂しかったです。さくら日本語の会で日本語を子どもと一緒に勉強していました。

子どもが小学校に入学した時、とても心配でした。彼にはまだ友達がいなかったし、中国では、登下校は必ず親が付き添いますので、日本の子どもたちだけの集団登校は、安全かどうか心配でした。でも、今は友達もできて、少し安心しました。

西条は自然が豊かで、水がきれいで、新鮮な野菜や魚がいっぱいあります。西条の人たちとても親切です。菊の花やキウイをもらいました。心が温くなりました。

私たち家族は、時間がある時、温水プールで遊んだり、西日本で一番高い石鎚山にあるスキー場でスキーをしたりして楽しく過ごしています。西条のことが大好きです。

※さくら日本語の会では西条市在住の外国人に日本語を教えるボランティアを行っています。